

視力検査

視力検査

定期的に検査し、視力の衰えがあるかを知るためのものです。

検査方法

視力には、遠方視力と近方視力の2種類があります。一般的に健康診断で行う視力検査は遠方視力の検査です。（5mの距離）

健康診断では、電子式視力計を用いて片眼ずつ測定します。裸眼または矯正視力で測定するため、眼鏡・コンタクトの使用の有無を確認させていただくことが必要です。レーシック手術を受けられた方は裸眼視力として測定させていただきます。

遠近両用眼鏡を使用されている方はレンズの位置を調整し良く見える位置で測定します。

また、老眼鏡を使用されている方は遠方視力を測定する際は裸眼で測定します。

夜勤明け・パソコン作業・体調不良などによる眼精疲労により、一過性に視力が低下することがあります。

基準値

0.7以上：正常（A判定）

0.6以下：要経過観察（B判定）

V D T 作業健康診断

近方視力は主にV D T 作業対象者に行います。検査方法は遠方視力と同じです。50cmの距離での視力を測定します。

急激な視力低下を疑う病気

眼底出血、網膜剥離、眼圧上昇